

サンプルと写真の送り方

【葉と翼果のサンプル】

1. サンプルにする葉と翼果をハサミで切りとる。その木で典型的な大きさ・形のものが良い。



- ・葉の対生が分かる箇所を取る。
- ・大きな葉の場合は、送る際は葉1枚でも可。
- ・できれば、破損や虫食いのない葉を。
- ・翼果は最低1個。房状のひとつまとまりでも。
- ・葉と翼果が別の場所でもOK。

* 地面に落ちている葉をサンプルにする時は、縁が丸まっていないものを採取してください。

* 採集禁止の場所では
慎みましょう。

2. 雑誌などに挟み込むか、チャック付きのポリ袋に入れて、持ち帰る。
(葉が乾燥すると、丸まってクシャクシャになり、元の葉の形が分からなくなるので、そうならないようにこの方法で持ち帰ります。)

◇雑誌に挟む場合



- ・形を整えて挟む
- ・セロテープで仮止めする
なら、枝の部分を止める。
- ・持ち帰る途中で、サンプルを落とさないように。

◇チャック付きの袋に入れる場合



- ・葉の乾燥を防げるのが利点。
- ・葉が折りたたまれたりしないように、形を整えて入れる。
- ・なるべく空気を抜いて、袋を閉める。

* 採集日、採集場所、予想される種名または標本番号を記したメモや付箋をそこに一緒に入れておきましょう。

3. 家に帰ってから

◇雑誌のサンプルはそのままの状態
重しを乗せ、毎日、挟みこむページを
替えて、葉を乾燥させる。

◇チャック袋に入れたサンプルは、すぐに
郵送するならそのまま送ってもよいし、
新聞紙等を使って乾燥させたものを送って
もよい。

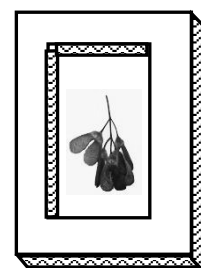
4. 調査票、サンプル(葉と翼果)、写真を返信用封筒に入れて、博物館に送る。



葉を紙に包む。
ノリやセロテープで
紙に貼るのはNG。

もちろん、**調査票も**
一緒に送って下さい。

段ボール紙の中央部をくりぬいて作った翼果ケース



翼果は、郵送途中でつぶれる恐れがあります。アルミホイル芯やチップスターの蓋で作った手製の容器、または、左図のような段ボール紙をくりぬいた型に入れて、送って下さい。

◎封筒の厚みが1cmまでなら、
博物館の返信用封筒を使って
いただけます。

* 複数の調査票や複数のサンプルを同封する場合は、**調査票とサンプルの対応が分かる**
ように番号等を明記してください。

【写真の撮り方】

サンプルが採取できない場合は特に、写真からの情報が重要です。次のようにお願いいたします。
また、サンプル採取をした方も、写真を撮って送っていただければありがたいです。

- できれば、マクロとミクロで撮影して、複数枚の写真を送ってください。
 - 木の全体 (樹形や樹高、全体の雰囲気分かるように)
 - 枝先 30 cm くらいの様子
 - 葉の表面のアップ (葉の形、縁のギザギザ、葉柄の長さを見ます)
 - 葉の裏面のアップ (裏面の白さ等の色味、葉脈、毛の有無など)
 - 翼果

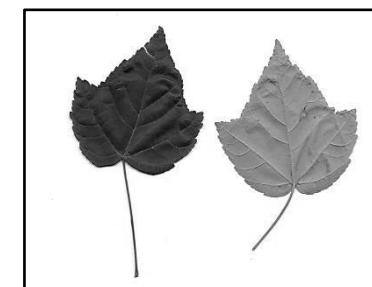
こんな感じです



ヒツバカエデ 葉と翼果



メグスリノキ 複葉が対生



ハナノキ 葉の表と裏

- * 大きさがわかるもの(スケール)が写り込んでいれば、なお良いです。
- * 写真の裏面に、調査票のどの木に対応するものかを明記してください。PDF ファイルで送る場合はファイル名をつけて区別してください。

➤ 風が吹いていると、被写体になかなかピントが合いません。枝を持つ手が写り込んでいても構いませんので、ピントのあった写真をお願いします。

➤ 写真は、プリントしたものを調査票と一緒に封筒に入れるか、PDF ファイルで送られる方は博物館のフィールドレポーターのアドレス freporter@biwahaku.jp に送信してください。

不明な点がありましたら、博物館のフィールドレポーター担当 大槻達郎学芸員までご連絡ください。
また、調査票が足りなくなった場合はコピーしていただくか、お知らせいただければ、改めてお送りいたします。

連絡先 琵琶湖博物館 〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091

TEL: 077-568-4811(代) FAX 077-568-4850